

# 平成28年度第六回ユニット型特養運営推進会議

施設長

係長

主任

- ① 日時 平成29年3月21日(火) 14:00～15:00
- ② 場所 伯寿の郷 面談室
- ③ 参加者 内田 房子様、秦和男様、藤井様、河野友香様、永井清美様、小松原様  
岩見係長、谷上相談員
- ④ 書記 谷上

## (内 容)

### 1.入所者代表より、入所の様子について話

谷上相談員「内田さん、何かお困りの事とかございませんか。お食事等はでしょうか。」

内田様「なかなかお通じが出なくていけません。どうしたらいいでしょうか。出ないため食事も少し遠慮する時もあります。」

岩見係長「どうしても、お通じが定期的に出ないと、そわそわしてしまう事もありますもんね。」

秦様「人間は腸を中心に出来ていると言いますもんね。」

藤井様「サラダ油を少しとるとすっきり出ると聞いた事がありますが、いかがでしょうか。」

岩見係長「看護師、栄養士等と検討してみます。」

内田様は体調を考慮し、途中退席とする。

### 2.生活記録について

谷上相談員より、ユニットの生活記録について、朝ご飯の日実施報告書、誕生日会報告書、ドリンクバー実施報告書、本格ラーメン実施報告書についての報告を行う。

### 3.内部研修について

谷上相談員より、1月、2月の内部研修についての報告を行う。

### 4.防災について

谷上相談員より、先月実施した水害に伴う避難訓練についての報告を行う。

上記についての説明をした上で、参加者の方から意見を伺う。

藤井様「防災についての話がありましたが、私は別の施設の訓練を見学させて頂いた事がありますが、その時は夜間想定、認知症役の方9名、職員1名で行っていましたが、一人の負担が大きく、訓練とは言えども大変そうでした。災害に関しては特に夜間に負担が大きいのと思います。このような訓練は定期的を実施する事が大切で、他施設との連携も必要になってくると思います。」

岩見係長「夜間は地域は特に地域の方への手助けが必要になってくると思います。地域の方へどう振り向いて協力して頂けるかが大切になってくると思いますがいかがでしょうか。」

永井様「3.4年前の水害の時より水位が上がると、この施設の辺りは孤立してしまいますよね。」

岩見係長「水害はまだ避難までに準備する事が出来ませんが、火事の場合は特にまったなしですよ。」

小松原様「安田地区の自主防災組織が今日発会式でした。4月1日から活動を開催する事になっています。もしよろしければ、その時にお話しをしに来ていただけますでしょうか。代表は長谷川みちあきさんという方です。去年は岩手県の災害もありましたしね。伯太川は清瀬に水門が一つしかなく、水のはけが悪く心配ではあります。」

谷上相談員「防災についてはいきいきゾーンとしての活動が必要かと思われるため、医師会病院等と相談をしながら、是非伺わせて頂きたいと思っております。」

永井様「赤屋で洪水が起こった場合、50分くらいで水が来るそうですね」

永井様「話は変わりますが、先月、高齢者虐待の研修を受けました。その話の中で、高齢者から職員への虐待と言いますか、いじめのようなものがあると伺ったのですが、こちらでは大丈夫でしょうか。」

谷上相談員「ご利用されている方の中には認知症の症状から、介護抵抗などがある時もございますが、その行為をご利用者から虐待を受けていると捉えている職員はいないと思います。」

秦様「今年は雪が多かったですが、除雪は大変でなかったでしょうか。」

谷上相談員「一回目の雪の時は職員を中心に除雪をしたためとても大変でした。2回目の時は、道路工事の関係で工事業者が施設内も除雪して頂きとても助かりました。」

岩見係長「次年度は除雪についても予算化も含め検討したいと思っています。」

秦様「インフルエンザ等は大丈夫でしたでしょうか。」

谷上相談員「1名ショートステイの方の発症がありましたが、幸い広がることはありませんでした。今後も予防に努めていきたいと思います。」

岩見係長「その他、何か生活のご様子の事でも構いませんし、何かございますでしょうか。」

秦様「こうして、いろいろな機会でも良くしていただき、家族としては嬉しく思っています。」

藤井様「伯寿の郷は園児さんとの交流はありますか。」

谷上相談員「昨年は2回の交流をさせて頂きました。次年度以降も引き続き交流を継続していきたいと思っています。」

岩見係長「園児さんと交流をしている時は、ご利用者の方はとても良い表情をされます。こども園との交流もそうですが、小学校との継続的な交流もとても良い効果があり、初回はとても緊張していた子ども達も、回を重ねるごとに自然とお年寄りの方と関われるようになっていて驚きます。目線を合わせたり、ゆっくり話しかけたりできるようになっていて、継続して交流する事の大切さを感じています。」

秦様「保育園児さんくらいの子どもさんと交流をすると、お年寄りの方もとてもほっとする気持ちになれると思います。」

小松原様「お年寄りの方への良い影響はもちろんですが、以前から言っておりますが、私は子ども達が何を感じるのそれが大切だと感じております。少なくとも私たちが子どもの時に感じていた、お年よりの印象とは大きく変わってきていると思います。よくこの様な体験交流をして頂けているなど感心しています。それに子ども達も嫌がっているわけではない。とても素晴らしく感じています。今年の卒業生の中にも「将来介護士を目指したい」と言っている子がいました。だからこそ、介護職員の処遇の改善は必要であると思います。そのような子ども達を目指したい職業であってほしいですね。」

#### 次年度について

ユニット運営推進会議の構成員の任期は1年であるため、次年度以降も引き続き役員を継続して頂けるように依頼を参加者全員、承諾して頂く。